



われもこう

題字 岡本 清 さん

第109号

2019年9月30日発行

高槻ライフケア協会

患者さんとの関わりの中で思うこと

理学療法士 杉森 仁志

皆さんは理学療法士という職業を知っていますか。理学療法士とはリハビリテーションの中で理学療法を実施する者をいいます。

私が理学療法士という職業を知ったきっかけはスポーツで怪我を負い、リハビリテーションに通ったことがきっかけです。実際に理学療法という治療を受けた際に、人間の解剖や運動学、生理学を元に適切な治療を提供していただける理学療法士に感謝の気持ちを抱きました。無事にスポーツ復帰を果たした私は理学療法士という職業に憧れを持ち、無事に国家資格を得て病院に入職しました。

リハビリテーションとは『Re=再び』+『habilis=適した』という意味を持っており、なんらかの障害を受けた人々を『再び人間にふさわしい状態にすること』と意味されています。簡単に言えば、『社会に復帰させる』『以前のような生活に戻す』という意味合いがわかりやすいかもしれません。

理学療法士として働き始めた当初は関節の動きや筋力など解剖学や運動学に関わる知識をもとに理学療法を患者さんに実施し、日常生活動作の獲得を目指していました。それが当たり前の仕事だと考えていたのです。『動作・運動』のスペシャリストではありますが、様々な患者さんと関わるなかでそれだけでは理学療法士は務まらないということを実感しました。

病気を患う、障害を持つということでは人間は不安に陥ります。またご家族も少なからず不安を抱えると考えています。以前の生活に戻れるのか、以前のように歩くことができるのか、旅行などの趣味が行えるのか。人それぞれで抱える不安は様々です。

数多くの患者さんに関わることで退院後の生活方法がいかに大切かを痛感させられました。社会において障害や疾病を患った方々の生活イメージが一般的ではありません。いざその状況に置かれると、普段なら当たり前のようにできていたことができない。介助方法は？など解決方法が



わからないことだらけで不安になります。そこでいかに不安を取り除いて生活が行えるかが理学療法士としてのテーマとなりました。

私の考えるテーマの結論を言うと、患者さん本人とご家族や関わる方々全ての人生を豊かにすることが理学療法士の務めと考えています。私たちの専門は『動作・運動』です。トイレが一人でできるのか、風呂に入れるのか、家事は行えるのかなど、動作ができるのかできないのかを明確にすること、できない動作については介助量がどれくらいなのか。福祉用具の提案や住宅環境を評価し手すりの設置個所や改修が必要なところはどこか。など患者さんの動作能力を把握したうえで具体的に生活動作をイメージし、できる限り患者さん自身で行えることは行って頂き、できないところはいかに介助量を減らして生活できる方法を提供できるのかを様々な視点から考察し提案します。これらを実現するには専門知識とは別に、福祉用具、住宅、介護保険サービスなどの知識も必要とされます。今後の不安に対する解決策としてあらゆる情報を提供し生活像をイメージすることで安心して今後の人生を歩んで頂きたいと考えています。

私は理学療法を通じて『疾病、障害＝一つの個性』として捉えるようになりました。それぞれの個性と関わらせて頂く中で様々な知識と経験を頂きました。たとえ疾病を患い、障害を持ったからといってもそ

の人はその人です。個性として受け止め、いかに今後の人生を歩んでいくか。患者さんもご家族様も人生を豊かに過ごしていくために色々と考えるかと思いますが、理学療法を通じて色々と話してみてください。

私は要介護5の介護保険を持ち動作に全介助が必要な方に関わらせて頂く機会を得ました。そのご家族はリフトを器用に使いこなし、毎日車いすに患者さんを乗せ散歩に出かける。雨の日も関係ありません。旅行に出かけられることもありました。リハビリを通じて関わる中で介護方法や悩み事はできる限り解決策を考え、お互いが過ごしやすいように考えました。関わりの中で、私の方が多く学ばせて頂いたことに感謝しています。患者さんとご家族が互いに笑顔が尽きないのを覚えています。

私は様々な個性のある方々と関わらせて頂き、このような人間に育てていただき感謝の気持ちでいっぱいです。リハビリテーションを通じて人々を幸せにしていくことが自分の務めと考え、日々精進しております。まだまだ未熟者ではありますが日々成長し少しでも地域に貢献できたらと考えています。

何かあったら気軽に身近な理学療法士に相談してみてください。きっと何か役に立てると信じています。



あすなろ地域交流センター

★篠笛の響きコンサート



地域交流センターあすなろ2号館の「こけら落とし」として、初のコンサートにご協力頂いた篠笛奏者の井上真実さんから、奈良万葉文化館で大好評だった、七夕にちなんだ演奏会を「あすなろ」でもしましょう！と言って頂き、早速旧暦の七夕の日に近い8月9日にコンサートを開催しました。



織姫の心～待つ乙女

織姫に心重ねて～

万葉集に歌われるひたすらに愛する人の訪れを待つ乙女たちの心を、織姫の境遇に重ね、日本の伝統楽器「篠笛」の音色と響きで綴ります。旧暦の七夕にちなんだコンサート、叙情豊かな篠笛の世界を満喫しました。

★あすなろ第2回ミニセミナー

「ハーブを暮らしの中に VOL2」

身近なハーブを活用し豊かで健康的な毎日を送るため、ハーブの効能や利用方法などを、堀田年子さんに教えて頂きました。

誰にも邪魔されず、最もくつろげるのはバスタイムかもしれません。この大切な時間をもっと有効に、疲労回復やリフレッシュ、さらに全身美容のために使えたら、とても好都合ですね。香りの脳へ及ぼす影響と体表から植物成分が吸収される作用を、心地よく効果的に取り入れるための「バスに用いるハーブと効能」について、「バスポプリの使用法」について勉強した後、「ハーブ石けん」作りを体験しました。

その後、ハイビスカスのハーブティとイタリアの極細パンのグリッシーニでお茶タイム。ハーブの香りに包まれて、ゆっくりと楽しい時間が流れました。





小規模多機能型居宅介護あすなろ

8月24日は日吉台地区ふるさと夏祭りでした。毎年参加しているあすなろ利用者さんは「祭りはいつや?」「盆踊りの練習せなあかな!」と、とても楽しみにしていましたが、今年はいにくの雨で参加する事が出来ませんでした。その為、スタッフが屋台を回り、あすなろでお祭り気分を味わいました。夕食にカレーライスを召上がったばかりの皆さんでしたが、焼き鳥、たこ焼き、かき氷等々、「美味しい!お腹いっぱいけど別腹やね」とお祭りの雰囲気



気を楽しんでいました。かき氷を購入したHさんは、「皆さんで食べて〜。」とお裾分けし、Aさんは、「これは美味しいなあ。」とあっという間に完食したので、周りの笑いを誘っていました。帰りの車内でTさんは、「来年は盆踊りもしたいし、外でたこ焼き食べたいわ!」と言い、それを聞いたUさんは、「来年まで元気におらなあかなね。」ともう来年の夏祭りを心待ちにしていました。



訪問介護

訪問介護員2級の資格を取ったのは、ちょうど母を見送り、心にあいた穴を埋めたかったのかも知れません。資格証を手にして思った事は「母の居るうちに勉強しておけばよかったなあ。」母を目の前にして、側に居るのに何も出来ず、ただ弱っていくのを見ているだけでした。今思うと、側に居るだけで良かったのですが。夢中でやった母の痰の吸引も今では懐かしく思い出されます。

仕事で色々な利用者さんと会う度に「心身の状態変化をもっと理解出来ていたら、もう少し心に余裕が持てたのに…」

と今も学ばせてもらっています。そして、自分の歳の重ね方の勉強中です。高齢になった自分の事を素直に受け入れているかしら?若い時には考えもしなかった身体の衰えを感じます。「今は老々介護だ!」と言いながらお手伝いをし、「一緒に生きていきましょうね。」と、利用者さんと共に過ごせることに喜びを感じています。高槻ライフケア協会も変革の時、福祉に関わる若い方々の働きやすい職場でありますように…、笑顔の絶えない職場でありますように…、と祈ります。(S)





暮らし創造の家 朋(とも) 小規模多機能型居宅介護

8月下旬の夏祭り。出店の一つとして魚釣りをすることになりました。魚釣りは紙の魚にクリップを付けて、磁石の付いた釣竿で紙の魚が何匹釣れるかというゲームです。魚の色付けでは皆さんの個性が現れてとても楽しい瞬間であります。端から丁寧に色を塗る K さん、いきなり派手なオレンジ色で真ん中から大胆に塗り出す C さん、「ウナギは紫でかつおは青で」「鱈は



定番となりました夏祭り!二階の小規模多機能型居宅介護と合同で行いました。綿密な打ち合わせを行い、いよいよ開始!お祭りモードへ!

今年はさかな釣り、コイン落とし、輪投げがあり、屋台ではフランクフルト、タコせん、フルーツポンチの屋台です。利用者のWさんはタコせんソースを塗ったり、フランクフルトの下準備をしたりと大活躍でした。Kさんは会場に入る



皆さんで輪になって久しぶりに玉入れをしました。赤白チームに分かれて勝ちを争う本気モードです。「座ったままで」というルールも、一生懸命で立つ人もおり接戦でした。玉入れの休憩中、皆さんに「好きな芸能人は誰?」と聞きました。「フラ

明るくしよう」「ヒレは落ち着いた色に」など、皆さん思いおみの魚を完成させました。

お祭り当日は、皆さんは自分の塗った魚と気づいていなかったかも知れませんが、個性豊かな魚がたくさん釣れました。暮らし創造の家 朋(とも)のお祭りは、皆さんで作るから楽しいのだと思いました。

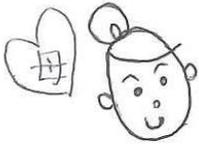


生活介護

とすぐに好物のフランクフルトにかじりついて「美味しい!」とご満悦の様子。Sさんはいつも「しょもない。」と言いつつもゲームの景品をもらいニコニコ笑顔。もうひとりのSさんは大好きな支援員と手を繋いでゲームを楽しんでいました!Oさんはゲームに参加し、記念撮影にはピースサインでした。祭りの締めは「高槻音頭」を利用者皆さんで踊り、夏の雰囲気を楽しみました。

通所介護

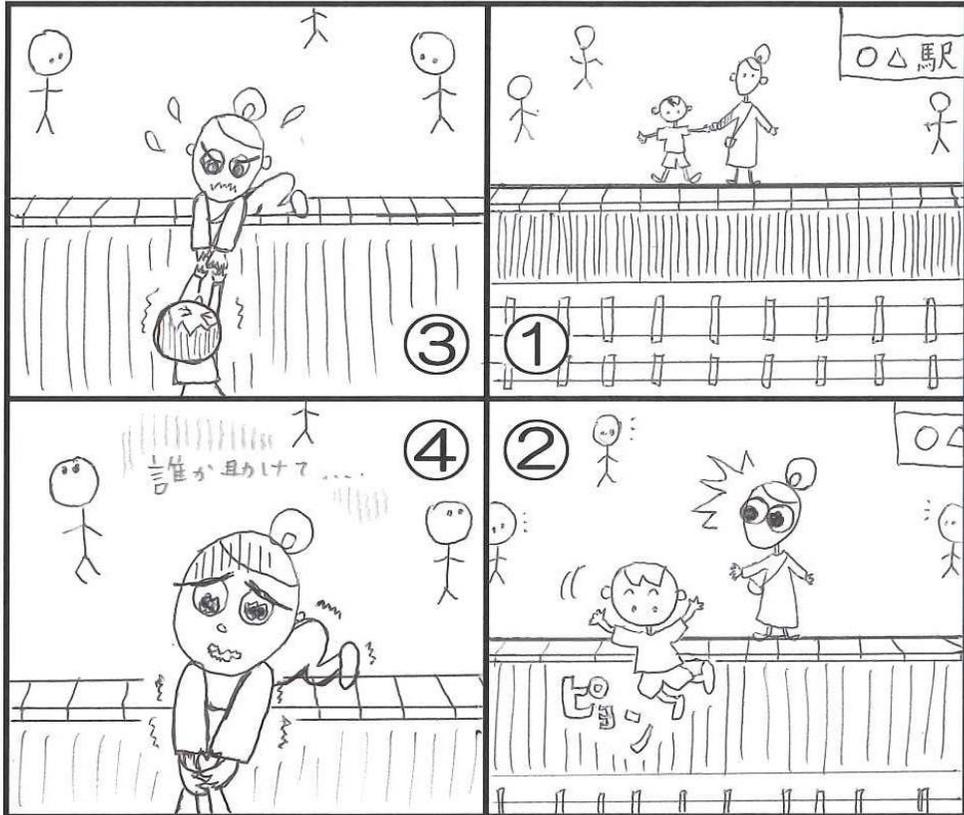
ンク永井」「市川雷蔵」「齊藤工」と年代に幅のある答えが返ってきました。無口でいつも大人しいNさんは「藤純子」と答え、それには皆さんがびっくり!「きれいな人や。面食いやなあ。」とNさんの意外な一面を垣間見た時間でした。



なつママ奮闘記



～ 自閉症のわが子との毎日 ～ その①



- ①音楽療法から帰る際のある日、ホームで工事をされていて・・・。
- ②「ゲッ!」「え〜!」
- ③「ひえ〜!」電車来る〜!!「助けなきゃ〜。」
- ④誰も助けてくれへん、世間は冷たいなあ〜。母必死!息子無事!

食の文化祭 10月19日(土)

食の文化祭 城跡公園 “社会貢献の場” に
 高槻ライフケア協会は出店します。
 お散歩がてらに是非お越し下さい。
 お待ちしています。





サービス提供実績報告 (2019年6月～8月)

◇社会福祉法人

《訪問介護》

利用件数	2,684 件
利用時間	2017.37 時間
生活援助	806.97 時間
身体介護	1210.40 時間

《介護予防訪問介護》

利用件数	798 件
利用時間	767.83 時間

《ケアワーカー派遣サービス》

利用件数	407 件
利用時間	394.50 時間
家事援助	261.50 時間
身辺ケア	96.00 時間
社会的援助	37.00 時間

《障害福祉・居宅介護》

利用件数	2,491 件
利用時間	1222.25 時間
家事援助	692.55 時間
身体介護	1100.00 時間
通院介助	123.50 時間

《重度訪問介護》

利用件数	132 件
利用時間	239.50 時間

《同行援護》

利用件数	373 件
利用時間	1123.00 時間

《移動支援》

利用件数	635 件
利用時間	2031.50 時間

◇特定非営利活動法人

《福祉移送サービス》

利用件数	76 件
利用時間	2,849 分
利用距離	1,012 k m



「イキイキ プロジェクトチーム」立ち上げ

＜仕事は、もっと楽しくできる。新しい人よ、目覚めよ！＞

高槻ライフケア協会では、①ホームページ・パンフレットの改訂、②このプロジェクトチームから法人の将来を担う人材を輩出する、③各事業所間職員の日常的な交流の場とする、を目的にプロジェクトチームが立ち上がりました。現在、新企画が着々と進行中！ご期待ください。





♡ご協力に感謝します (敬称略・順不同) 2019年6月16日～9月15日

<社会福祉法人>

□寄附金 累計 197,000円 裕上利男、竹中和枝。

□寄 贈 矢倉里美、市野身衣子、濱田香澄、三崎葉子、牟田倫文、佐藤富美子、高津勝美、久保由美子。

<NPO法人>

□後援会費 累計 220,000円

三次弘子、田口容子、久米譲、瑞野紳子、小沢福子、小野美鈴、布施和生、山本正子、牟田倫文、北畑政和、東和、青木正子、實島けい子、丸岡トシミ、鶴野玲子、木村三男、北建夫、深尾政子、野口かよ子、久米郁子、野澤純一、小林信博、田中佳代、三俣玲子。

□寄附金 48,360円

♠物品販売にご協力ください

☞ コーヒー(豆、挽)

1kg : 1,700円 500g : 850円

☞ 泉州わかめ(大阪湾泉州ワカメ)

塩わかめ 130g : 300円

茎わかめ 130g : 300円

たこ飯の素 2合用 ; 450円

☞ 島原手延べ素麺 眉山の糸

1kg～5kg : 1,200円～5,300円

*高槻市、島本町は送料無料。

☞ おとひめこんぶ(真昆布一年物)

南北海道榎法華村から。1袋 : 550円

すき昆布 A4サイズ 1枚 : 550円

✍ 編集後記

夏の全国高校野球選手権では大阪の履正社高等学校が初優勝を飾りました。テレビ観戦する私にも球児たちの決勝にかける思いが十分伝わり、胸が熱くなりました。何が見ている私まで熱くさせるのか。

ひたむきにプレーする姿、ライバルへの闘争心、悔し泣きをしている姿、勝者が敗者を励ます心意気…。それらが混じり合い熱くさせるのか。皆さんは今年の夏は何か熱い経験をしましたか?(I)

社会福祉法人高槻ライフケア協会

〒569-0806 高槻市明田町 5-7

TEL(072)683-4945

http://tlca.info/

特定非営利活動法人高槻ライフケア協会

〒569-0802 高槻市北園町 4-19

TEL(072)682-4119